

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒の海洋科学に対する意欲や探究心を高める教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。</p> <p>②実習や学校行事、生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。</p>	<p>①教科を横断した授業に取組み、主体的・対話的で深い学びにつなげるための研究授業、教員研修会の実施及び内容の充実を図る。</p> <p>②水産各分野における課題研究の取組や水産クラブでの活動を通して、生徒の主体的な行動の促進を図る。</p>	<p>①教科を横断した授業に取組み、主体的・対話的な授業を通じた生徒の「深い学び」の実現に向けた科目や教科の横断的な授業展開方法を研究する。</p> <p>②地域や産業界と連携した実践的、体験的な学習活動を積極的に推し進めるとともに、生徒が実習や研究活動の成果を校内・校外で発表する機会の増加を図る。</p>	<p>①生徒の授業評価において「授業でわからないところがあったら、先生や友達に聞いたり、自分で調べたりするなどして、わかるようとする努力をしている。」の最も高い評価が40%以上となったか。</p> <p>②水産クラブや課題研究の取組を充実、発展させ、地域や産業界と連携した実験や実習を実践するとともに発表をする機会が前年度より増加したか。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①行事・部活動の活性化を通して、責任感や連帯感の涵養を図る。</p> <p>②生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図る。</p>	<p>①部活動加入率の増加に向けた具体的な方策を検討、実施するとともに、外部の人材を活用するなど、活性化に向けた取組を推進する。</p> <p>②支援が必要な生徒に対する教育相談体制を充実、発展させるとともに、情報共有を徹底させるためのケース会議を確実に機能させる。</p>	<p>①生徒の意識調査の実施をもとに分析と新入生に対する部活動加入の増加のための具体的な方策の策定。</p> <p>②SC、養護教諭、教育相談コーディネーターの連携を密にし、担任等の関係職員との情報共有を徹底し、個々の支援に当たるとともに、必要な生徒には早期に実施する。</p>	<p>①意識調査をもとに具体的な方策を立て部活動加入率の増加ができたか。</p> <p>②関係各所の連携を個々の生徒の支援に結びつけることができたか。</p>					

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	生徒が自らのキャリア発達を意識できる進路指導の充実を図る。	・専門に関するインターンシップの参加率を向上させ、生徒の適切な勤労観、職業観を育成する。	・1、2年次生徒へのインターンシップガイダンスを充実させる。 ・全ての専門系列にインターンシップ実施を依頼する。	専門系列によるインターンシップ企画件数、企画人数と参加人数が前年と比べ増加したか。				
4	地域等との協働	①教職員一人ひとりが創意工夫し学校の魅力を開発・発信し、学習センター機能を充実・発展させる。 ②地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。	① 海洋学習センターの取組を継続、深化させるとともに取組の外部への発信について充実させる。 ② 地域の自治体や産業界およびコミュニティスクールと連携した取組を継続し、学校に求められるニーズを開拓する。	① 三浦真珠プロジェクトをはじめとした校外組織との連携事業を継続し、事業の予告や成果を積極的に発信し、多くの職員が取組むことができるように整備する。 ② 地域の関連団体が行うイベントや共同事業を深化させ信頼関係の発展に努める。	① 海洋学習センターの事業取組状況およびホームページへのアクセス数(アップ数) ② イベントへの参加状況およびイベントを通じたアンケート結果				
5	学校管理 学校運営	すべての職員が教育環境の変化に迅速に対応し前向きに課題に取り組む学校文化を形成する。	コミュニティスクールの導入による具体的な取組みを検討、実施するとともにコミュニティスクールに対する教職員の意識を高めるための研修会の実施及び内容の充実を図る。	コミュニティスクールの導入による具体的な取組を検討する。	教職員のコミュニティスクールに対する意識の向上を目指す。				